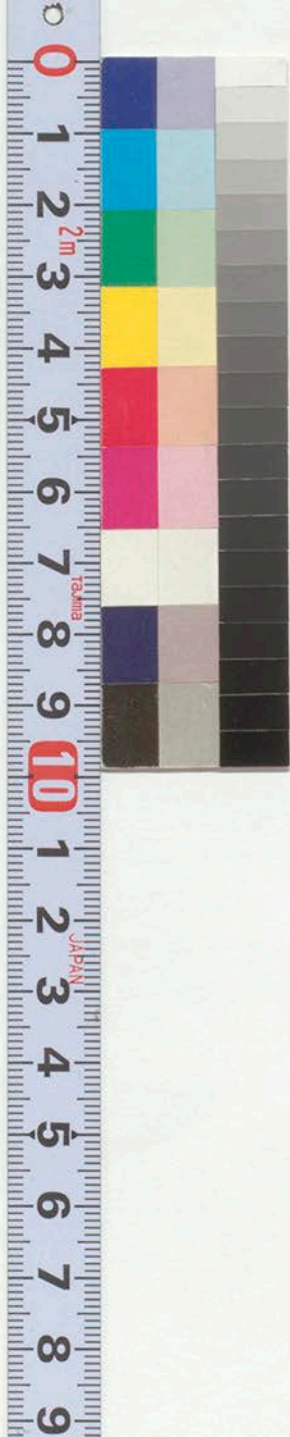


20
100

安政現存百人一首
鋤柄助之編

完

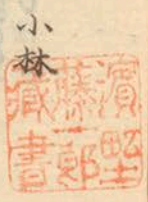


たしむる一げんりつてりくはつちき
じつしつてりつてりくはつちき
たしむるのちつてりくはつちき
ちつてりくはつちき
ちつてりくはつちき
ちつてりくはつちき
ちつてりくはつちき
ちつてりくはつちき
ちつてりくはつちき
ちつてりくはつちき

あま七
七日
美園
浪

水々々々

歌城



あま七
七日
あま七
七日
あま七
七日
あま七
七日
あま七
七日
あま七
七日

終日見旅

光世

拾遺

あま七
七日
あま七
七日
あま七
七日
あま七
七日
あま七
七日
あま七
七日

秋夜をゆく

文雄

井上

秋風はかぜのしるしをたのむわらわら
うらやまをこぼす夕暮のゆかり

海邊を

長儀

小笠原

波の音はしるしをたのむわらわら
ゆかりをこぼす夕暮のゆかり

夏目易明

夏彦

前田

蓮葉はしるしをたのむわらわら
ゆかりをこぼす夕暮のゆかり

夏目

久彦

杉山

花の香はしるしをたのむわらわら
ゆかりをこぼす夕暮のゆかり

述懐

忠敏

松平

あつらひあるはるはるにまはるるに
思ふはのちのちのちのちのちのち

池田

光房

清水

清き水はそよよよよよよよよよよ
あつらひあるはるはるにまはるるに

一

夏夢

田路子

那須

あつらひあるはるはるにまはるるに
あつらひあるはるはるにまはるるに

夏中夜

村田

村田

あつらひあるはるはるにまはるるに
あつらひあるはるはるにまはるるに

初條衣

利條

栗川

衣の初條は利條の栗川

衣の初條は利條の栗川

衣

利條

仲田

衣の初條は利條の栗川

三

高橋志

秋子

岡部

高橋志の秋子

高橋志の秋子

高橋志

高橋

高木

高橋志の秋子

高橋志の秋子

禁中様

三信 池田

おかしき御事候へども御事候へども
おかしき御事候へども御事候へども

御事候へども

寶徳 町野

おかしき御事候へども御事候へども
梅のおかしき御事候へども御事候へども

夏風

新徳 万年

おかしき御事候へども御事候へども
おかしき御事候へども御事候へども

草

豊城 山内

おかしき御事候へども御事候へども
おかしき御事候へども御事候へども

夕暮

廣臣

稿本

海邊の夕暮を思ふに
あはれなる心ぞ
あはれなる心ぞ

あはれなる心ぞ
あはれなる心ぞ

あはれなる心ぞ
あはれなる心ぞ

又米

あはれなる心ぞ
あはれなる心ぞ

あはれなる心ぞ
あはれなる心ぞ

五

門格

紹識

善林寺

あはれなる心ぞ
あはれなる心ぞ

あはれなる心ぞ
あはれなる心ぞ

あはれなる心ぞ

道廣

長尾

あはれなる心ぞ
あはれなる心ぞ

あはれなる心ぞ
あはれなる心ぞ

夕立巻

一周

加藤

夕立巻の巻物

夕立巻の巻物

夕立巻

阿誰

櫻井

夕立巻の巻物

夕立巻の巻物

六

各地儀

甕雄林

各地儀の巻物

各地儀の巻物

各地儀

巻物
三田

各地儀の巻物

各地儀の巻物

弥忘悉

✓孝則

岩調

嬉 暮の暮なるをいふに
いふに
いふに

離蒙

✓改醇

小堀

の 暮の暮なるをいふに
いふに
いふに

七

待春

✓永好

同言

の 暮の暮なるをいふに
いふに
いふに

每後暮蒙

✓永好

大野

の 暮の暮なるをいふに
いふに
いふに

春のあけ

知是 鈴木

春のあけのうらみ

甲斐のうらみ

小曾

通文 河野

春のあけのうらみ

春のあけのうらみ

秋

忠周 内藤

秋のあけのうらみ

秋のあけのうらみ

待

輝照 尾田

秋のあけのうらみ

秋のあけのうらみ

七夕庚申

由清 横山

いそぎに身をまかせしとて

いそぎに身をまかせしとて

新嘗

知雄 関

新嘗に身をまかせしとて

いそぎに身をまかせしとて

十

磯の里

惟時 櫻井

磯の里に身をまかせしとて

いそぎに身をまかせしとて

多岐夜

一也 川辺

多岐夜に身をまかせしとて

いそぎに身をまかせしとて

閑中書

光被 平

閑中書

閑中書

閑中書

古香 秋園

閑中書

閑中書

待花

元長 福田

待花

待花

海村

競 福知

海村

海村

雑子

聖徳

松村

妻ふら 鏡の影のあはれなる
うらやまのあはれなる

聖

清見

葉若

可 なるのあはれなる
あはれなるのあはれなる

十三

述懐

延平

笠倉

皇國の神代にまはるるあはれなる
あはれなるのあはれなる

箋

古文

長四

よみかへしあはれなるあはれなる
あはれなるのあはれなる

月夜傳悉

独命

伊东

~~~~~

~~~~~

松雪

佐子

细井

~~~~~

~~~~~

十四

茶

裁徳

堀野

~~~~~

~~~~~

夕巻卷

保佑

田中

~~~~~

~~~~~


水雞

崇真

寂靜院

あつたにけりの中りもはなれは

あつたにけりの中りもはなれは

藤崎

長

藤崎

あつたにけりの中りもはなれは

あつたにけりの中りもはなれは

総宿梅

恒房

石崎

あつたにけりの中りもはなれは

あつたにけりの中りもはなれは

變意

子寛

権田

あつたにけりの中りもはなれは

あつたにけりの中りもはなれは

芳冨忠

貞松尾

真龍寺

人ノ流をこゝろとて心ひくもなほ
てあやふきをてはひのふはせむ

貞白

玄久

考坂

十景路のいかにあるを果ての月
り計あり流るる雲をまの如

三

月

仙翁

山田

縦板城をそきて〜〜〜
ひのこゝろひのこゝろ

秋の露

素雄

稿木

〜〜〜
〜〜〜
〜〜〜

田家結

原哉

高本

休田人々一々家結り一々又々々々
一々又々々々々々一々一々一々

松宿氣

棊子

武谷

一々一々一々一々一々一々一々一々
一々一々一々一々一々一々一々一々
一々一々一々一々一々一々一々一々

六

杜林果

李則

下田

一々一々一々一々一々一々一々一々
一々一々一々一々一々一々一々一々
一々一々一々一々一々一々一々一々

三葉

子浪

加藤

一々一々一々一々一々一々一々一々
一々一々一々一々一々一々一々一々
一々一々一々一々一々一々一々一々

多歌月

稲雄

西田

東路にまゝのりて結月を
よみ人なりて海の波に
あそぶ

遊仙集

7光一

西村

春の山に遊ばせし
もよほしき花の心
をよみ人なりて海
の波にあそぶ

丸

夏巻流

7年町

田内

多し結文の人の
秋の山に遊ばせし
もよほしき花の心
をよみ人なりて海
の波にあそぶ

秋巻

7流流

若泉

多し結文の人の
秋の山に遊ばせし
もよほしき花の心
をよみ人なりて海
の波にあそぶ

水也巻

源光

清水

うらなひく春に梅りしはなはた
はなはたはなはたはなはた

葛巻

三貫

河野

日さしを春に梅りしはなはた
あはれはなはたはなはた

社

新田

道頭

吉田

梅のゆけはなはたはなはた
あはれはなはたはなはた

河友月

如春

願名

あはれはなはたはなはた
あはれはなはたはなはた

夕山歌

信古

佐藤

夕山歌
夕山歌
夕山歌
夕山歌
夕山歌

夕山歌

子孫

福島

夕山歌
夕山歌
夕山歌
夕山歌
夕山歌

二

夕山歌

景恭

堺

夕山歌
夕山歌
夕山歌
夕山歌
夕山歌

夕山歌

敏成

吉田

夕山歌
夕山歌
夕山歌
夕山歌
夕山歌

母

忠實 塙

おのゝこはなほしやう時々 新なるい

とあつたしは縁のふれはあ

花水

正備 菊地

人いふはなほしやう時々 新なるい

とあつたしは縁のふれはあ

日支路

徳牧 草野

あつたしは縁のふれはあ

とあつたしは縁のふれはあ

毎事無花

正澄 村山

あつたしは縁のふれはあ

とあつたしは縁のふれはあ

文時白

結之

久松

~~~~~

~~~~~

板東由

重造

力石

~~~~~

~~~~~

田

華曾抄流

資禮

那須

~~~~~

~~~~~

岡如家

吾順

有田

~~~~~

~~~~~


138586

濱野吉長
藏書

天啓
改德

天啓
改德

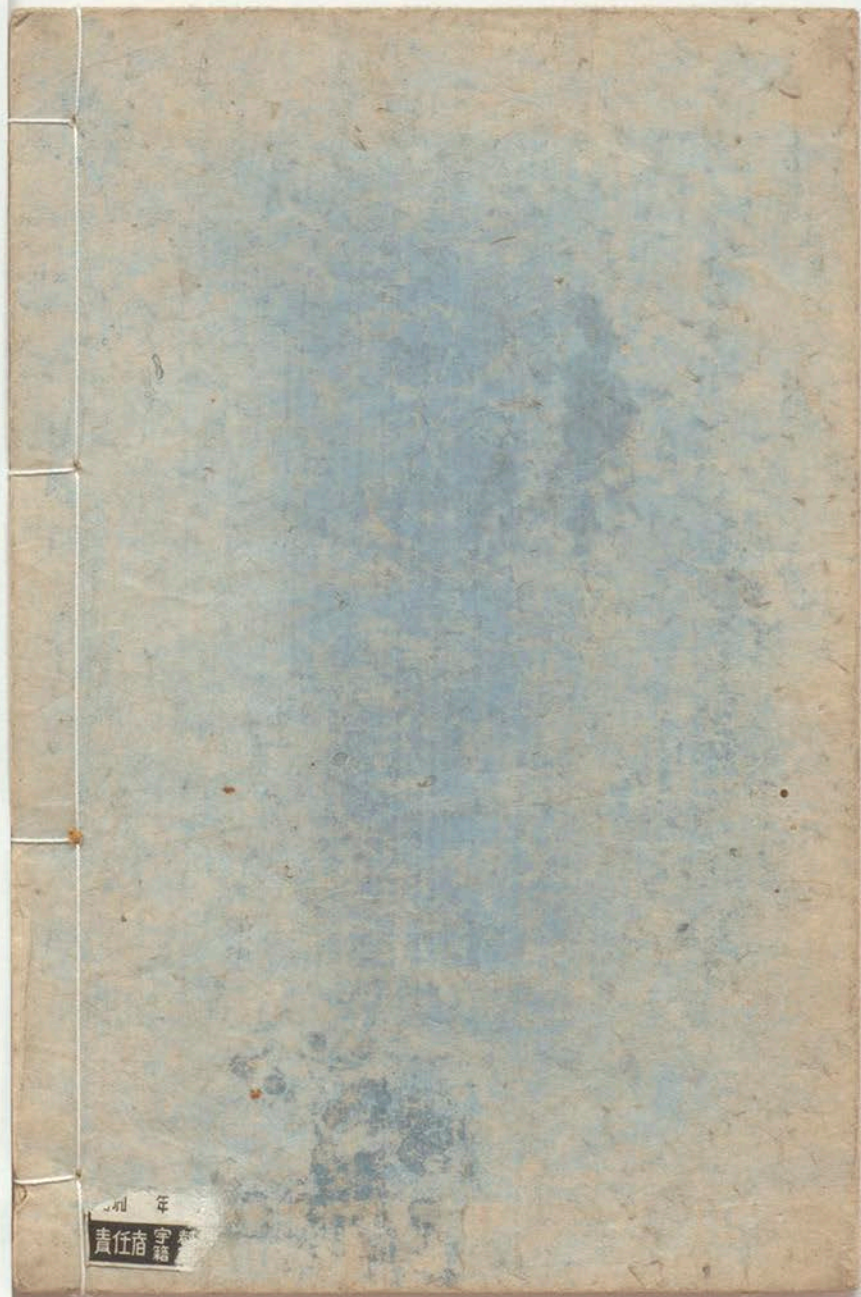
天啓
改德

天啓
改德

天啓
改德

天啓
改德

天啓



利 年
責任 字號